

太宰府中学校2学年だより

No.21

R3.12.13

文責:2年部 主任

楽学両道の修楽旅行

～持って行くのは「ルールとマナー」 持って帰るのは「最高の思い出」～

皆でお互いを助け合いながら「ルールとマナー」を意識した行動で過ごし、
たくさんの思い出を持って帰ることができた「修学旅行」でした。

3日間の修学旅行が終わりました。あなたの心には、今どんな思い出が残っていますか。

コロナの感染状況が徐々に落ち着いてきた中で、11月12日に実施が決定してから1ヶ月の間で、学年一丸となって様々な準備や取り組みを行ってきました。

皆さんのパワーで、しおりの作成や学年の取り組みなどを早めに準備することができたので計画的に、さまざまな取り組みを行うことができました。係会を何度も開いて行程を確認して、荷物点検をすませ、ゆとりをもって臨むことができました。

8日(水)の早朝まだ暗い中に天満宮駐車場に集まり、寒さに震えながら出発式を行い、新幹線に乗りました。あっという間に新大阪駅に到着し、関西弁が飛び交う中を乗ってバスに乗り、奈良に到着したとき、福岡とは違う空気や人の姿をまず感じたのではないのでしょうか。

午後からの奈良研修では、東大寺や興福寺、奈良公園を見学しました。道徳の時間に東大寺について学習しましたが、実際に見た東大寺では、見上げるように大きい奈良の大仏や、金剛力士像のにらみを利かす姿に、彫刻が醸し出す強い威厳(近寄りたがいの堂々として厳かなこと)を肌身で感じたことでしょう。



奈良公園では、皆さんをめがけて寄ってくる鹿の姿に、思わず鹿せんべいをたくさんあげたくなったことでしょう。道徳の時間に出てきた「ヌシ」はいましたか。鹿せんべいをあげるとお辞儀する鹿の姿は本当にかわいらしかったですね。

また、この日の夜の薬師寺のお坊様お話は、長時間の説法かと思いきや意外や意外、抱腹絶倒のお話でした。あの独特のテンポに皆圧倒されっぱなしで、あっという間の時間でしたね。

しかし、笑いの中にも「人としての正しい生き方」をしっかり説いていただいた、非常にありがたいお話でした。

2日目の京都班別研修では、ジャンボタクシーに乗って、自分たちが決めた場所を見て学びました。どの建物も、教科書についている写真どおりの姿に改めて感動したことでしょう。

「古都千年」と言われるように、ほとんどの建物が千年以上前に建立(こんりゅう)され、今現在もその姿を保っていることに、改めて昔の人々の文化芸術、技術の高さに驚くとともに、千

年の時の重みを感じたことと思います。

京都独特の言い回しや、ご当地スイーツは堪能できましたか。ジャンボタクシーの5時間はあっという間に過ぎて、行き尽くせなかった所もたくさんあったと思います。

また、夕日に映える平等院鳳凰堂も非常に美しかったですね。



1日目のみなさんの動きは、言われて動く場面が多く、先生から注意される場面が見られました。しかし、その日の会議で今日の行動を反省し、明日からの行動で挽回することをお互いに確認しあいました。

2日目のみなさんの動きは、昨日の反省を生かして、朝から機敏な動きと声をかけあう姿が多く見られるようになりました。また、挨拶の声も大きくなり、すれ違う人々に積極的に挨拶する爽やかな姿がたくさん見られました。

3日目の伏見稲荷神社では、千本鳥居の数と大きさが織りなす異空間に感動したことでしょう。鳥居に囲まれた長い通路をくぐる時、どんな感じになりましたか。帰りはちょっとした鍛錬遠足になりましたね。



あっという間の3日間が過ぎ、帰着して博多駅に着いたとき、福岡の「故郷の香り」を感じたことでしょう。帰宅してお家の方の顔を見たとき、さらに心地よい疲れを感じたことでしょう。

今回、初めて京都や奈良に行った人も多かったと思います。同じ日本に住んでいて、これほど違うのかと感じたり、福岡と同じだと思ったり様々な感覚を持ったと思います。

学年集会で、校長先生が皆さんにお話をされた「縦の並びはルール、横の並びはマナー」が見事に実現され、皆健康で元気に過ごし、食事もほとんど残さずに食べ、皆さんの良さと持ち味が大きいに輝いた修学旅行でした。

中学校生活の修学旅行は終わりました。あなたが修学旅行でつくった思い出物語を、これからの時間をつかってプレゼンテーションで表してほしいと思います。

2年生としての中学校生活もあと3ヶ月です。修学旅行で学んだ「仲間と関わり、皆で頑張ることの素晴らしさ」を発展させ、最上級生としての準備を行っていきましょう。

保護者の皆様

3日間の修学旅行が無事終わりました。コロナに対する感染拡大防止に留意した中での取り組みでしたが、計画的な取りかかりと子どもたちの頑張りや功を奏して、全行程が無事終えることができました。

保護者の皆様におかれましては、お子様の体調管理をはじめとして、様々な面で心を配られたことと拝察いたします。3日間の修学旅行が無事終えることができたのは、保護者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

子どもたちはあと3ヶ月で最上級生になり、進路を考える時期を迎えます。この行事で得た様々な経験を、子どもたち自身が成長の糧にして、自分の力で進路を切り開く「自立の心」をさらに伸ばしていけるよう、今後とも学校教育への支援をどうぞよろしくお願いいたします。